
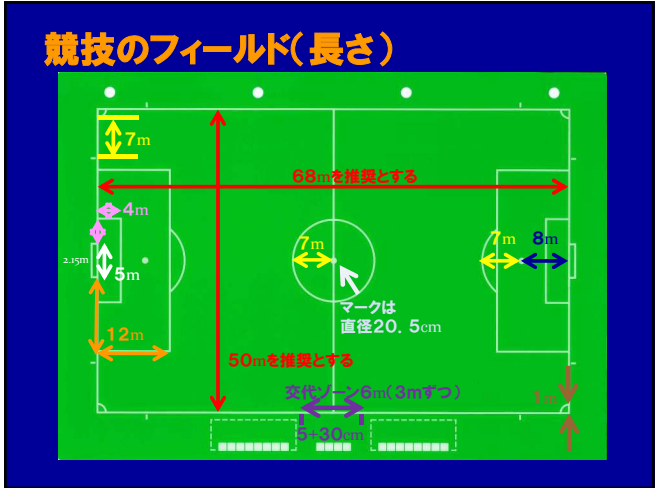


# 8人制一人審判<sup>ver2</sup>

2017.7.6



(一社)青森県サッカー協会  
審判委員会  
石鉢 学



## 試合時間

- 前後半15~20分ハーフが標準
- ハーフタイムのインターバルは10分を超えない
- 3ピリオド制もある

※ 前後半制



前半	ハーフタイム	後半
	エンドを替える	


※ 3ピリオド制 JFA FFP

1ピリオド	インターバル	2ピリオド	インターバル	3ピリオド
	エンドを替える		エンドを替える	エンドを替える
<b>Aグループ</b> 交代なし		<b>Bグループ</b> 交代なし		<b>ABグループ</b> 自由な交代

## チェックポイント

- FK, CKは 7m以上 離れる
- スローインは 2m以上 離れる
- キックオフから直接得点できない
- 退場者が出てても補充できる
- 自由な交代(出てから入る)
- PK方式は3人ずつ+サドンデス
- グリーンカードの使用



# 1人制審判の説明

June 13, 2017  
Japan Football Association




## ＜目的・伝えたい事＞

- **1人制審判のやり方、ポイント**を理解すること。
- 1人だから見えない、わからない部分もあるが、見えなくていい、判定できなくてもいいというわけではなく、1人でも試合を運営できるように**最大限の努力**をすることが大事であるということを理解すること。
- 最初の段階として、まずは**しっかり走って、いつでも争点の近くで判定**できるようにすることが大事であるということを理解すること。
- 運営能力、判定能力を高めることが大切となるが、判定能力を高めるためには特に試合中の**動きとポジショニング**が重要となるので、その具体例を理解すること。

JFA

## ＜全日本少年サッカー大会の競技のレベルの分析＞

- JFAが目指す競技者がボールをタッチする機会が増え、競技者の意図的なプレーが多くあるゲームを担当するために、プレーの意図、試合の流れを感じることができる審判員が求められるようになってきている。
- 早い判断によるスピーディーな展開が増えるとともに、ゴール前からゴール前にボールが動くことが多くなり、審判員にはスピードが求められている。
- フィールドのすべての場所で、競技者同志で競い合う機会が多くなり、フィールド全体を動き回り争点の近くに常にいることができる審判員が求められている。

JFA

## ＜JFA審判委員会として参加する審判員に求めるスキル＞

- **競技規則の理解ができていて、的確に適用できること。**  
(競技規則に従って試合を進めることができる)
- **いろいろな展開に応じて、試合時間を通して動くことができること。**  
(全体的な運動量だけでなく必要に応じてスプリントをきかせた動きができる)
- **競技者のプレーの意図を見極めて、適切に判断を下す努力ができること。**  
(現在も日常でサッカーをプレーしており、プレーヤーの気持ちを理解できる)
- **自分の与えられた任務を果たす責任感と緊張の中でも全力を発揮して努力できること。**  
(サッカーに対して謙虚に向き合い、最後まで責任を果たすために努力できる)

JFA

## ＜具体的なシーン＞

### ① 流れの中での動き方

- 3人制と基本原則（争点に近寄る、次の展開やオフサイドの判断もできるような広い視野、プレーや選手の邪魔にならない）は変わらない。
- ただし副審がないので、副審の仕事（オフサイド、得点、ラインアウト等）も受け持ちながらレフェリングしようとする、動き方が変わってくるケースがある。



JFA

## ＜具体的なシーン＞

### ② セットプレーの時のポジション

- コーナーキックはボールの位置の確認が必要なので、ボールサイドに取ることが多い。ただし、逆側まで行った方が全体は見やすい。
- フリーキックはなるべく広い視野が保てるように。



JFA

## ＜具体的なシーン＞

### ③ タッチラインやゴールラインを出たかどうかの判定

- すべてを正確に見極めるのは難しいが、近くで判定しようとする姿勢が大切。
- 近くまで動くことでいつもより良く見えるはず。



JFA

## ＜具体的なシーン＞

### ④ オフサイドの判定

- 全体が見える広い視野が求められる。
- 逆サイドの選手が見えていない場合やキッカーと受け手が同時に見えていない場合は判断を間違いやすい。



JFA

## <具体的なシーン>

### ⑤アドバンテージ

- 選手は笛が鳴るまで一生懸命プレーしています。
- 選手のたくましく素晴らしいプレーがたくさん見られるように、積極的にアドバンテージを適用していきましょう。

